立命館小学校 2023 年度学校目標年度末報告シート

教育目標

世界を変えていく人を育てる。

く5つの誓い>

わたしたちは、かけがえのない一人ひとりの命を大切にします。

わたしたちは、言葉を大切にし、心をみがいていきます。

わたしたちは、知りたいという気持ちを大切にし、あらゆることから学び続けます。

わたしたちは、たくましく生きていくために必要な根っこをきたえます。

わたしたちは、身につけた力を、進んで他の人に分かち伝えていきます。

重点目標

- I. 目指す姿の素養をもった児童の安定的な獲得
- II. 知的好奇心に導かれる自主的な学びの構築
- III. 子どもたちと社会をつなげる「ハブ」機能の充実
- IV. 心理的安全性の高い組織づくり
- V. 新たな時代の12年一貫教育に向けての小中高連携

Ι.

中位目標		達成目標(当年度目標)		評価
	 教育活動の価値の掘り	(1)	学校内外での入試イベントを充実させる	©
	起こしと学校内での相	(2)	日常的な学校の様子を伝えるため、HP や SNS での情報発信を充実させる	0
1	互理解・外部発信を通			
	じた広報の充実			

Ⅱ.

中位目標			達成目標(当年度目標)	評価
	立命館小学校版「探究 学習」モデルの確立 教	(1)	各学年における教科横断型探究学習の実施	0
		(2)	2025 年度新カリキュラム構築に向けた協議	0
1	科横断型探究プロジェ	(3)	学校環境改革	0
	クト	(4)		
		(1)	交流プログラムのオンライン実施	0
	グローバル教育新展開	(2)	RU/APU との連携による国際教育プログラムの開発と実施	0
	一学校国際化構想と世	(3)	海外プログラム再開に向けての準備と一部実施	0
2	界との協働学習の日常	(4)	逆タームプログラム(海外児童受け入れ)の開発と試行	0
	化			

Ⅲ.

中位目標			達成目標(当年度目標)	
1	EdTech を活用した自由な学びのスタイルの構築	(1)	オンライン自主学習教材の試行と運用	0
		(2)	iPad と Surface の更なる活用	0
		(3)	EdTech 環境充実にむけた調査の実施	0
2	教育ベンチャー事業	(1)	EARTH 構想の具体化と実施	0
	の挑戦:立命館小学			
	校がプロデュースす			
	る学びの場の提供			

IV.

中位目標			達成目標(当年度目標)	
1	教職員・児童の心身 の健康を重視した組 織づくり	(1)	働き方改革の推進	0
2	ダイバーシティ&イン クルージョンの推進 を軸とした心理的安 全性の高い組織文化 づくり	(1) (2) (3)	多様性尊重についての理解促進特別支援体制の構築	0

٧.

中位目標		達成目標(当年度目標)		評価
		(1)	R12 部長会議の安定的な運営	0
	立命館中高との連携	(2)	小中高連携イベントの充実	0
1	強化と 12 年一貫教育	(3)	児童・生徒の成長に関わるデータ共有と政策化	0
	の実質化			

達成状況

◎の評価とした項目については、概ね予定どおり進めることができた。○の評価としたものについては、以下の事情を考慮している。

IV-1-(1): 働き方に関わる各種施策については計画通りに進めているが、超過勤務時間をさらに減少させるためには構造的な改革が必要となっている。

V-1-(3): R12 部長会議を通して、小学校と中学校の間で個別の児童・生徒情報を詳細に共有してきた。ただし、全体としての統計数値としてのデータを用いて政策化するには至っていない。

改善策

上記課題について、2023年度においては以下の方策で改善及び更なる推進に務める予定である。

IV-1-(1):カリキュラム改革を通して、業務負担を軽減しながらさらに学びの質を高める方策を追究する。

V-1-(3): 個別の児童・生徒についての小中間での情報共有はさらに丁寧に行うとともに、テーマ設定を明確に行った上でのデータ収集・分析を計画する。

学校関係者評価に関する事項

池坊雅史(池坊華道会事務総長)

岡野益巳(清和会会長 株式会社岡野組代表取締役会長)

齋藤茂 (株式会社トーセ代表取締役会長 兼 CEO)

委員会

高須秀視(元・ローム株式会社社友 株式会社 SCREEN ホールディングス取締役)

構成

中川哲(株式会社 EdLog 代表取締役社長 文部科学省初等中等教育局視学委員 GIGA スクール戦略担当)

平林幸子(京都中央信用金庫相談役)

岩佐亮 (立命館小学校保護者会会長)

久野信之(学校法人立命館常務理事(一貫教育担当))

第1回学校関係者評価委員会

<開催日時>

2023 年 7 月 13 日 9:30-11:30 (9:40-10:00 校内見学)

<議題>

- 1. 校長挨拶
- 2. 委員の紹介
- 3. 2022 年度の立命館小学校の自己評価について
- 4. 2023 年度の立命館小学校の学校目標について

開催日程

5. その他

主な議題

第2回学校関係者評価委員会

<開催日時>

2024年3月19日9:30-11:30 (9:40-10:00校内見学)

<議題>

- 1. 校長挨拶
- 2. 委員の紹介
- 3. 2023 年度の立命館小学校の自己評価について
- 4. 2024 年度の立命館小学校の学校目標について
- 5. その他

2023 年度の立命館小学校の自己評価について第二回学校関係者評価委員会で報告し、以下の通りのご意見・助言をいただいた。

・自己評価については概ね賛同できる。

評価・改善 事項

・新しい学校づくりを進める中で、「企業・団体」連携、とりわけ電子部品開発等京都のハイテク産業の強みを活かした取り組みも進めてほしい。「ものづくり」を軸に、大学や中高との連携もさらに促進できるのではないか。

・立命館小学校で行われている先進的な教育実践について、学園全体にしっかり伝えていく必要がある。その際、新しい 学び方・教え方などを正確に理解してもらうため、その意味づけや価値づけを明確にした上で、実際の子どもたちの学び の姿を見てもらうのがよい。その点で、この間進めてきた SNS 活用をさらに検討してほしい。学校の姿を示す上で HP は 要となるため、情勢に応じたアップデートを心がける必要がある。

- ・海外児童の受け入れについて、特に日本人在外児童の短期受け入れニーズ、日本語を理解しない子どもの就学ニーズ等ますます高まっている。そういった子どもたちを受け入れる仕組みを引き続き検討してほしい。また、立命館小学校の国際教育は一つの大きな強みでもあるので、その学びの価値についてさらなる発信が期待される。
- ・地域に開かれた学校になるための方策についても検討してほしい。